

委員会視察報告

多摩都市モノレール株式会社

交通対策特別委員会

6月23日

- ◎委員長 原 成兆
- 副委員長 森 嘉男
- ◎委員 村上 嘉男
- ◎委員 高水 永雄(議長)
- ◎委員 古宮 郁夫
- ◎委員 近藤 浩
- ◎委員 原 隆夫
- ◎委員 義子 栄
- ◎委員 山下 野
- ◎委員 山崎 義子



瑞穂町でも、モノレールの早期延伸により人口増加や文化、商業の核として地域活性化が図れる事を期待し、これからも活動を行っていく。

その後、モノレールの検修検車庫と総合指令室を視察した。そこでは、過去に人身事故は一度もなく、東日本大震災では、震度4の揺れの際でも点検後、短時間で運転再開を行うことができた」と説明を受け、安全面でも優れた交通機関であること認識した。

～モノレール延伸の早期実現に向けて～

災害に強い交通機関

基地対策特別委員会

4月26日・27日

航空機利用者に対し補助金制度を実施

～空港(基地)と歩む町について～

豊山町には、町域の約3分の1を占める県営名古屋空港があり、滑走路使用料が町の財源に大きく影響していた。平成17年2月には中部国際空港(セントレア)が開港し、空港と歩む町として、コンピューター航空の振興と運行本数の確保のため、23年度から、利用する町民に対し補助金制度をスタートさせた。28年度には商工会の会員(事業所)にも対象を拡大させている。

航空自衛隊が滑走路を共有しているが、自衛隊との民間交流は行われていないとのことであった。また、日本初ジェット旅客機であるMRJが生

産される我が国唯一の地域であることから、航空宇宙産業の育成・振興にも取り組んでいた。

在日米軍基地に隣接するわが町とは大きな違いがあったが、頭上を航空機が飛び交う町として、町民の安全は共通の願いであると痛感した。

- ◎委員長 石川 修
- 副委員長 小川 龍美
- ◎委員 村山 正利
- ◎委員 吉野 一夫
- ◎委員 小山 典男
- ◎委員 高水 永雄(議長)
- ◎委員 大坪 齋藤
- ◎委員 国広 成宏



愛知県豊山町 航空自衛隊小牧基地

議会運営委員会

4月14日・15日

予算・決算において 議員間討議を実施

～議会改革について～

紫波町では19年に「議会のあり方に関する検討委員会」を設置し、議会改革に着手。23年までの改革1期には通年議会をはじめ12件の改革に取り組み、改革2期として27年6月までに予算・決算における議員間討議の導入、議会基本条例の制定、議会モニターの設置など、更に積極的に改革を推し進めていた。予算審査のスケジュールでは、充実した議員間討議ができるよう、論点整理・確認や町側への質疑の時間を十分確保するなど、町の理解も得て取り組んでいた。



わが議会も28年度予算審査で議員間討議を実施し始めたが、事前の調査・分析・検討が不十分であったことから、紫波町の取り組みは大変参考とすべき内容であった。

岩手県紫波町

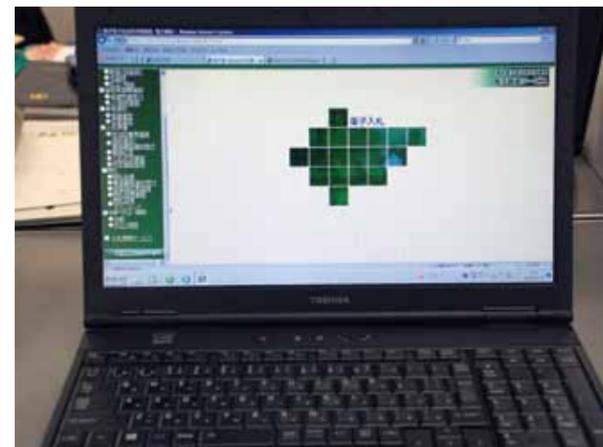
- ◎委員長 小川 龍美
- 副委員長 森 嘉男
- ◎委員 高水 永雄(議長)
- ◎委員 原 正利
- ◎委員 成兆
- ◎委員 近藤 浩
- ◎委員 山下 野
- ◎委員 義子 栄



古宮 郁夫 議員(自民新政法)

公共工事の入札及び契約の適正化について 瑞穂町の現況と対応を問う

町長 公正な入札及び契約事務に取り組んでいく



瑞穂町のPC上の電子入札画面

討・協議する」としてある。平成26年10月の「公共工事の入札及び契約の適正化の推進」に係る大臣通達、及び平成28年3月の「低入札価格調査における基準価格」に係る国の局長通達の理念や本年4月入札の落札率約41・9%での成立を鑑み、現行基準の早急な見直しが必要と思慮し町長に問う。

町長 低価格入札の対策として、予定価格が1千万円以上の工事入札は最低制限価格を設け、品質の確保と従業員の低賃金化の排除を図っている。他の工事入札においても、落札率が50%を下回った場合は、担当者が事業者の積算内容を確認するなど慎重に対応している。総合評価方式の導入は、既に一部プロジェクト方式を実施し、適格性、独創性などの対象事業にあわせた評価項目を取り入れ総合評価を実施している。今後とも公平、公正な入札及び契約事務に取り組む。



吉野 一夫 議員(自民新政法)

健康寿命の延伸について 町の取り組みを問う

町長 健康増進や介護予防施策を推進していく

健康寿命の考え方、今後のまちづくりに重要である。高齢化が進んでいるが、町の人口は漸減となりつつある。一方で医療費は確実に増大の方向にある。今後、医療費や福祉関係予算の無制限の拡大は望めず、それらを抑える取り組みがさらに必要になってくる。現状の取り組みは勿論大切であるが、より一層健康寿命を延ばし、元気な高齢者が増えるような取り組みがもっと大切と考え、町の取り組みを問う。

町長 町は要介護状態の主な原因を調査し、糖尿病などの生活習慣病や運動器症候群を予防することが重要と判断した。そこで、健康診査や検診を行うと共

に、保健師など専門職に努める。これからも、長期総合計画の基本目標である「健康で元気なみずほ」を目指し、健康増進や介護予防施策を推進していく。



びんびん健康体操の様子(武蔵野コミュニティセンター)